



校章の由来

県立三中を意味した三つの剣を組み合わせ、初代大屋校長の考えで剛健・真剣・勤儉の三けん、更に智・仁・勇の三徳を兼ねた象徴として用いられて来た

厚高同窓会報

<第54号> 2020年(令和2年) 9月1日(火) 発行

<http://www.atsukou-dousou.org>

旧制中学卒業者	3,915名
新制高校卒業者	27,835名
合計	31,750名

発行
 神奈川県立厚木高等学校同窓会
 編集
 厚木高等学校同窓会広報委員会
 TEL 046 (221) 4078
 FAX 046 (222) 8243



本校舎の耐震化工事に伴うプレハブ校舎の建設工事が進む



11月16日、台風19号の影響で実施が危ぶまれた「第11回思い出の社に親しむ会」が、好天のもと79名の参加で賑やかに開催された。



相州健児の本領

同窓会会長 熊坂 隆光 (高19回)

7月に開かれた令和2年度同窓会通常総会において、会長に選任されました。輝々たる歴代会長に比し、まことに浅学非才であり、身に余る大役と思っております。お受けするにあたり大いに躊躇いたしました。コロナ騒ぎが続く、同窓会各種行事が停滞、役員選考委員会の開催も思うに任せないという緊急事態の中では、こちらも足踏みを続けるわけにはまいりません。もとより非力であることは十二分に承知しておりますが、ご推挙をいただいたことを重く受け止め、同窓の皆様のご協力を得ながら大任を果たす覚悟を固めました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

母校は2年後の令和4年(2022年)には創立120周年を迎えます。長い歴史と伝統にふさわしいさらなる発展、そして同窓会活動の活性化に向け、新体制の副会長はじめ役員各位と足並みをそろえ邁進してまいります。

もう55年も前のことになりましたが、在学中に「相州健児の本領はいざ鎌倉にあり」ということを教わりました。「いざ鎌倉」といっても平和な現代においては、鎧兜に身を固めて馳せ参じるなどという機会はありません。しかし、家族や地域、あるいは自分が属している職場やコミュニティで何か事が起きたときには、ためらうことなく一肌脱ぐ、率先して難関に取り組み解決を図る、これが相州健児の本領であると叩き込まれてきました。社会人になってからも時々校歌を思い出しながら常に「相州健児」たるよう努めてまいりました。

だからといって今回の同窓会長就任が「いざ鎌倉」だ、などと気負っているわけではありません。ただ、新型コロナウイルスにより、私たちの社会は大きく変化を余儀なくされております。私たちの生活もこれからの「新しい日常」とどう取り組んでいくかが問われています。こうした明治維新や終戦にも比されるような歴史的節目の時に、まずは新しい日常の中で同窓会活動をどう継続し盛り上げていくか、対外活動のスケジュールが崩れるなど部活動も思うに任せない母校をどう支援していくか、皆様と共に考え、一体となって進んでいきたいと思っております。

同窓各位のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

《熊坂 隆光(くまさか たかみつ)氏 略歴》

1949年1月10日、愛川町中津生まれ。厚木中学校卒業。1967年(昭和42年)、厚木高校卒業(高19回)、1971年(昭和46年)、中央大学法学部卒業。産経新聞社入社。政治部記者、ワシントン支局長、日本工業新聞社社長、大阪本社代表等を経て2011年、産経新聞社代表取締役社長。2017年、同会長。2019年から相談役。
 厚木高校在学時は応援団、弁論部所属。2年生時に全日本高等学校弁論大会で最優秀、同期弁論部の三浦部延子(後の奥様)は関東大会(水戸農高主将)で最優秀。

本部活動報告

新型コロナウイルスの影響で 予定事業・行事の中止相次ぐ

第一次世界大戦の参戦国でありながら戦争の惨禍を免れた我が国が、空前の好景気に沸いていた1918年10月から、戦後不況となった1921年3月にかけて大流行した「スペイン風邪」は、当時の人口5500万人に対し約2380万人が罹患したとされる。

それから100年後、2019年12月中国・武漢に端を発した新型コロナウイルスは、今や全世界に感染が拡大し、7カ月を経過した時点の全世界の感染者数は1200万人を超え、終息の気配はない。

我が国においても、1月に国内初の感染者が確認されて以降、3月24日には「2020年東京オリンピック大会」の延期が発表され、4月7日に緊急事態宣言が発令されて以降、経済活動等の市民生活は外出自粛などの対応を求められ、同窓会活動においても毎年5



マスクを着用して役員会に臨む 曾根会長(中央)以下本部役員

月4日に開催の「地引綱」や、各支部の総会も中止や書面議決などの対応を余儀なくされた。例年6月末に開催の通常総会も、当初6月27日の開催予定を変更して開催された。

平成から令和へと時代が移る中で、就任から2期目を迎えた曾根秀敏会長(高14回)はじめ、今期は任期満了に伴う役員改選を含めた案件審議の総会となった。

総会に先立ち令和2年7月4日に開催の本部役員会は、コロナ禍の「新しい生活様式」に則り、飛沫感染や接触感染の対策を盛り込んだ対応により、出席者はマスク着用し、座席の間隔も1メートル以上のソーシャルディスタンスを確保しての着席となり、コロナ禍の風景として、記憶に刻まれることとなった。

続いて、7月18日に開催の通常総会も、出席者を支部長と理事に限定し、例年開催の講演会や懇親会は中止となった。総会では、例年のとおり令和元年度の事業報告並びに決算が報告され、次に令和2年度事業計画並びに予算が承認された。続いて、役員改選が議題となり大貫隆男役員選考委員会委員長(高17回)から、新会長として熊坂隆光氏(高19回)氏、副会長として小島信男氏(高17回)以下、の次期役員名簿が提案され、満場一致で承認され

た。(承認された役員は16ページに掲載) なお、曾根秀敏前会長には、2期6年の長きにわたり多くの各支部総会に参加するなど組織の活性化に尽力され、愛川戸陵会と連携して30年ぶりに愛川町との分収造林契約を更新するなど、同窓会活動の礎となる多くの実績を残しての退任となった。

今期で引退される役員の皆様には、在任中のご尽力に感謝するとともに、同窓会活動への変わらぬご支援をお願いいたします。

同窓林(憶い出の杜)

愛川町との分収造林 契約を更新

令和元年6月開催の通常総会で承認された同窓林(憶い出の杜)の更新について、令和2年3月9日、愛川町役場において、それぞれの代表者である曾根秀敏(高14回)会長、小野沢豊町長が出席し、分収造林契約の調印式が開催されました。



右側から、愛川戸陵会の井上幹事長、小島副会長、熊坂副会長、大貫会長、曾根同窓会長、小野沢町長、小島同窓会副会長、石塚事務局長、志村事務局次長

調印式には、同窓会本部から曾根会長、小島信男(高17回)副会長、石塚修(高28回)事務局長、志村祐一(高24回)事務局次長、地元愛川戸陵会から大貫邦重(高16回)会長、熊坂朝一(高16回)副会長、小島総一郎(高17回)副会長、井上隆(高17回)幹事長が出席し、愛川町からは小野沢町長、吉川進副町長、柏木徹総務部長、中村健二管財契約課長が出席しました。

折しも令和2年の年始から世間を騒がすコロナウイルスの感染拡大防止のために、各種行事の中断が相次ぐ中、一時は本調印式の開催も危ぶまりましたが、愛川戸陵会と愛川町の熱意によって、無事桜のつぼみも一気に膨らむような暖かな日和となった愛川町役場では、小島(信)副会長の司会進行によって午前10時からの調印式がはじまりました。新しい契約書に小野沢町長、曾根会長が墨痕鮮やかに署名、押印し、引き続き小野沢町長から昭和15年の報国造林契約に始まった愛川町との長い歴史の積み重ねを回想し、今回の契約更新を契機として、愛川町と厚木高校同窓会とのより一層の交流促進に期待する旨のあいさつをいただきました。返礼として曾根会長から愛川町に対して、今後も同窓会として管理責任をしっかりと果たしてゆく旨のあいさつがありました。

令和2年度 事業計画

- 令和2年
4月13日(月) 創立118周年開校記念日
4月19日(日) 津久井戸陵会総会
睦合戸陵会総会
4月25日(土) 相模原戸陵会総会
5月4日(土) 地引き綱会(中止)
5月9日(土) 伊勢原戸陵会総会
5月17日(日) 綾瀬戸陵会総会
5月28日(木) 小鮎戸陵会総会
5月31日(日) 平塚戸陵会総会
荻野戸陵会総会
厚木戸陵会総会
6月14日(日) 関西戸陵会総会
6月20日(土) 愛川戸陵会総会
依知戸陵会総会
6月21日(日) 座間戸陵会総会
6月27日(土) 海老名戸陵会総会
7月4日(土) 役員会
大和戸陵会総会
7月12日(日) 厚木連合戸陵会総会
7月18日(日) 令和2年度通常総会
9月中旬 校歌祭練習会(中止)
10月10日(土) 第15回青春かながわ校歌祭(中止)
10月11日(日) さくら戸陵会総会
10月19日(月) 第6回チャリティゴルフコンペ
11月14日(土) 秦野戸陵会総会
11月21日(土) 憶い出の杜に親しむ会 ※未定
令和3年
3月7日(日) 藤沢戸陵会総会

ショー歯科医院
院長 歯科医師 新野見 昇一(高36回)
〒252-0002 座間市小松原1-26-22遠藤ビル1階
TEL 046-255-0118
○座間市歯科医師会 常務理事
○国際和合医療学会 理事

有限会社 ヒルカワブリーディングファーム
代表取締役 比留川 直幸(高15回)
〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川496-1
自宅 TEL 0467-78-0646
事務所 TEL 0467-77-3728
FAX 0467-77-3810

OPEN THE DOOR!
扉座
We will be back!
主宰/劇作家・演出家・横内謙介(高32回)
俳優・岡森 諒(高32回) 俳優・六角精児(高33回)
https://tobiraza.co.jp



ソーシャルディスタンスの総会会場

令和2年度通常総会

コロナ禍で出席絞って開催 新会長・役員に熊坂氏(高19回)らを選出

令和2年7月18日、レンブラントホテル厚木2F「暁紅の間」において令和2年度通常総会が開催されました。

総会開会に先立ち、物故者への黙祷が捧げられた後、落合重治副会長(高13回)の開会の辞、曾根秀敏同窓会長(高14回)及び上前悟学校長の挨拶がありました。

その後、議長として中村伸行氏(高13回)が選任されて議事審議に入り、各種議案は若干の質疑応答があったものの、原案通り可決されました。

次に、本部新役員については、役員選挙委員会からの報告、提案による新役員人事が、原案通り可決・承認されました。

議事終了後、石塚修副会長(高28回)の閉会の辞で、令和2年度通常総会は終了しました。

在任中のご支援

ご協力に深く感謝



前同窓会会長 曾根秀敏氏(高14回)

新型コロナウイルス禍で開催が危ぶまれた通常総会も何とか開催でき、新たな本部役員も選出されました。



石井清(高12回)画伯による石射隆宏さんの肖像画

東京オリンピックが延期され、各商業施設や学校が休業・休校となり、世上が「カオス」の状況になっています。そして、ついに本日(4月8日)新型コロナウイルス対策法に基づいて「緊急事態宣言」が発令されました。

思えば、ちょうど1カ月前の3月8日、新型コロナウイルスの感染が急速に拡大「パンデミック」の星をなした頃、石射隆宏(高14回)さん御逝去との訃報がもたらされました。もとより同窓会副会長の任に

安心して後を託すことができることを大変嬉しく思うとともに、次の節目となる2022年の創立120周年に向けて、受け継いだ組織と活力を高めることなく堅持する使命は、何とか果たせたいのではないかと安堵もしているところです。

勿論、これは、本部役員・理事・広報委員・事務局の方々、そして我が同窓会が誇る各支部の役員の方々のお支えがあつてのことは言うまでもありませんが、活動の大きな励みともなつたのが、協力を惜しまぬ、余熱溢れる母校愛熱き同窓諸氏の存在と県下有数の伝統校としての地位を堅持し、文武両道で躍進を続ける母校の姿であります。心から感謝申し上げます。本年の同窓会行事は、残念ながら

ら、悉く中止となっておりますが、新体制の下で力強く再始動できる環境が一刻も早く訪れるよう願っております。

〈上前悟学校長挨拶〉 困難の中頑張る 生徒達に応援を

まず最初にOHP(コンピュータで作った画像を黒板に映し出す機械)を今年3月に同窓会から寄贈して頂いたことです。非常に助かっています。4月以降、5月まで休校となっております。6月から

石射隆宏(高14回)元同窓会副会長を偲ぶ

厚木連合戸塚会会長 伊藤 修治(高17回)

あつた3年前に「大脳皮質基底核変性症」という5万人に一人という難病になり、入院闘病中であつたのですが誠に無念な事でありました。また、同時に今日と同窓会の基盤作りは日夜、奔走した人でもあります。「強いリーダーシップ」の持主で「人情に熱い人」と云うのが石射さんを知る多くの同窓・衆目の一致するところでしょう。それは御家族・親族にとつても同じであつた様です。

喪主を務めた長女の千夏(高43回)さんが会葬御礼で「人と人との付き合いを大切にしてください。父……略……頼まれこ

ようやく動き出したところですが、それでもクラス全員が集まつての授業はなかなか出来なかつたのですが、授業でOHPを使わせて頂いています。

学校の方なのですが、3月の頭から5月末まで休校となり、6月から授業が始まりました。この間に行われた卒業式及び入学式は、共に生徒のみが出席しました。特に新入生は6月の頭までの間に2日間しか登校しておらず、学校にいたのはほんの数時間という状態でした。

休校期間中は、インターネットを使った授業を展開してきました。教員の方も初めてやるような状況で、お互いに試行錯誤しながら、中身が濃いものをやつてきましたので、来年の3月には結果を出してくれるものと期待しています。

ただ、残念なこともあります。一つは部活動の大会が全く開かれず、部員達の活躍の場が全くないということですが、もう一つは、体育祭と文化祭です。どちらも当初の予定からは延期しますが、それぞれ9月24日と25日の平日に、本校生徒のみの参加という形で行う予定です。

県の「学力向上進学重点校」については、今年見直しが行われます。今までの実績から見ても、引き続き継続と言うことになると思えます。

一方、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)については、4月に2期目の指定を受けました。SSHの指定が取れたことが、色々な面で生徒達の学習にプラスになるかなと考えています。

湘南台 脳神経外科クリニック
SHONANDAI Neurosurgery Clinic
院長 落合 周太郎(高36回)
脳神経外科・内科 <https://shonandai-neuro.jp>
TEL.0466-45-5500
〒252-0804 藤沢市湘南台2-7-15 東急ドエルアルス湘南台アネックス1F

KUMON
公文書写 南町田鶴岡六丁目教室
木質 美鈴(旧姓: 紺本)高36回
〒194-0004 町田市鶴岡6-53-24
090-1429-1631
くもんの書写は、選べる4教科/
ペン習字 かきかた
筆ペン 毛筆

浦 恭子税理士事務所
所長 浦 恭子(旧姓: 赤津)高36回
〒245-0008 横浜市泉区弥生台6-35
TEL045-811-9332
※税理士業務
行政書士業務対応

学校情報

未曾有の状況の中で



校長 上前 悟

今年度当初、文部科学省より令和2年4月から5年間、2期目のスーパーサイエンスハイスクールに指定するとの吉報がありました。ところが、学校は新型コロナウイルス感染症防止のため、3月より続いていた臨時休校が5月末日まで延長となり、生徒達も教職員も未だかつて経験の無いスタートとなりました。最大の課題は、新型コロナウイルスに感染しないことです。本校には、生徒達の学習の継続とその意欲の維持、部活動という大きな課題があります。特に新一年生は入学式と翌日のオリエンテーションの2日しか登校しておらず、厚高生としての帰属意識の確立もままなりません。そのような状況の中、本校職員たちは慣れないICT機器を活用し、生徒達に期待を込め、多くの課題を与え続けてきました。それに応えるよう生徒達も、長期間友人達と交流がない個の世界の中で、何とか我慢しながらも課題に取り組み続けてきました。この間、生徒一人ひとりがコツコツと積み上げてきた努力は、必ず報われ無駄にはならないはず。部活動も活動が禁止され、関東大会インターハイも中止となり、生徒達は期待された結果を残す機会が与えられずとも残念に思っているはず。特に3年生にとっては最後の大会がこのような形になったことはとても残念なこと。活動を控えさせてきた校長として、大変申し訳ないと感じています。6月からようやく登校が始まり、現在は少しずつ日常が戻りつつあります。不安な材料は、挙げていけばきりがありません。しかし、厚高生は後ろを振り返るよりも前を向いて自らの信じる道を

第52回茅賞

環境に恵まれ、学び、走った3年間



金井 直樹さん

進んでくれるはず。」「ピンチはチャンス」、この困難な状況でも大丈夫だと私は信じています。最後にになりましたが、昨年度末に同窓会よりプロジェクトを9台贈っていたいただき、誠にありがとうございました。本来であれば各戸陵会へお伺いしてお礼を述べるところですが、このような形となり申し訳ありません。長い休校が続く、いただいたプロジェクトを活用する場がなかったのが、ようやくその機会が持てるようになり、教職員からは大変好評で、今後ますます、活用が増え、大切にかつ有効に使わせていただきます。さらに今年度もプロジェクトを贈っていただけると伺っており、大変楽しみにしております。新型コロナウイルスへの感染状況がまだまだ収束には至らない中、卒業生の皆様方の健康をお祈りすると共に、現役の厚高生への熱い応援とご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

学業・部活動・人物などすべてにおいて優れている卒業生1名に贈られる茅賞は、今年度金井直樹さん(31)が受賞した。受賞の感想は「びっくり」だそう。勉強は頑張ったと思うけど、他はそれほどでも」と遠慮がち。入学直後の宿泊オリエンテーションでいきなり数学の授業に三角関数が出てきて、課題の難しさと周りの生徒がよくできることに驚いたという。それがしつかり勉強するようになった。きっかけの一つだった。3年間授業には真面目に取り組んだ。「内職のようなことをするのは好きじゃない。授業中はちゃんと集中したい。受験に直接関係のない科目も聞いていけば、どれも面白い」と語る。好きな教科は数学。抽象的なことを数式で表し、思考力を用いて解答を導くことが気持ちよいという。

中学・高校と陸上部に所属し、専門は長距離。小学校時代に父親に誘われて走り始め、毎朝2キロ走るのが日課となった。中学時代を過ごしたイギリスでもランニングクラブに入ったが、日本の部活動のように連日練習するわけではなく、それほど記録は伸びなかった。高2秋の新人戦では5000mで16分10秒の自己ベストを記録したが、「本当は15分台を出したかった」と笑った。

厚高の魅力として、生徒の多彩さを挙げた。「実はピアノもすごいとか、入学前に高1の数学を終わらせたとか、いろいろな人がいて面白い」と語った。やり残したことがあるかと聞くと、「行事はもっと頑張ってもよかったかな。体育祭や文化祭ではちょっと控えめでした」とのことだ。

大学での研究対象として興味があるのは生物。イギリスで受けたハイレベルな授業で興味を引かれた。厚高では物理選択だが、動物の体のしくみや、どうやって動くのかを知りたくて「それには物理も化学も必要です」と話す。

将来の職業は未定だが、「大学でも陸上を続け、文武両道を目指したい」と目標を語った。

厚高着任のごあいさつ

副校長 長瀨 徳克



「学力向上進学重点校」として県立高校をリードするミッションを担う厚高高校への異動は、身が引き締まる思いで受け止めております。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、長期の臨時休校を余儀なくされたことから、厚高生たちの元気な声が響くはずの校舎が閑散とした状態が続く前例のない新学期を迎えました。ようやく3カ月にも及ぶ臨時休校が解除され、少しずつ学校が

日常を取り戻しつつあります。生徒たちの元気に学校生活を送っている姿を見ることは、教員として何よりの喜びだと思えました。今の私にできることは、いかなる状況下であっても、厚高生が自分の力を伸ばし、充実した学校生活を送れるような学校づくりに力を発揮していくことだと思っております。

また、厚高は、母校への熱き思いをもった同窓生の皆様を支えられていることを実感しております。微力ながら同窓会と厚高とのよき連絡調整役としても頑張りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。

『厚高新聞』第264号
(令和2年3月3日)より

「おかげさまで53周年」
大和南林啓
炭火七輪
ホルモン
珍満
菊地 努(高45回)
営業時間 平日 17:00-24:00 店休日 年末年始
土日祝 16:00-24:00
住 所 〒242-0006 大和市南林間2-10-9
電 話 046-275-0590

七輪炭火 焼肉 味ん味ん
これから皆様への期待に
応えられるよう努力していきます
株式会社味ん味ん
代表取締役 三上 賀通(高36回)

みひらクリニック
〒242-0023
大和市渋谷4-8-4スカイステーション101
TEL 046-201-2220 FAX 046-201-2221
院長 三平 将彦(高36回)

過去5年間の主要大学合格者数

[現役・既卒の合計数 ()は既卒者] 令和2年4月3日現在

Table with columns for school names (e.g., 北海道, 京都, 千葉) and years (令和2年春, 平成31年春, 30年春, 29年春, 28年春). Rows are categorized by school type: 国立, 公立, 私立.

最近5年間の進学状況

Table showing graduation paths (e.g., 国公立大学, 私立大学) and enrollment rates (入学率) for the years 令和2年, 31年, 30年, 29年, 28年.

令和元年 部活動ダイジェスト

令和元年度秋冬の部活動は、文化部、運動部共に後輩達の活躍が目覚しかった。令和2年に入って新型コロナウイルスの影響でインターハイを初め高校野球や各種スポーツ競技、全国総文祭など、ほとんどの大会・行事が中止に追い込まれている。

スト全国大会では優秀賞を受賞した。厚木高校は他校と比べ部員が少なく、小編成となっているが、大人数向けの曲に挑戦することが多いという。

数々の大会で健闘続く弓道部は11月3日に行われた全国弓道選抜大会県予選会で女子個人1位という好成績を残し、本選に出場した。また同大会では男子個人で6位入賞し、男子団体が一次予選を1位通過し、二次予選会・決勝に進出した。

12月8日、日本工学院蒲田キャンパス片柳アリーナで第5回 We are Speaker Age 関東グランプリ大会が行われ、厚高がグランプリ校賞、ベストサポーター校賞を受賞し、完全優勝を果たした。この大会はバンドとしてではなく、学

下は11月10日に海老名市文化会館で行われた第17回県総文祭の軽音楽コンクール決勝でも準グランプリを受賞している。この総文祭では2年生バンドの「KUSHAMI」と「Okaka」が共に奨励賞を受賞。「KUSHAMI」は11月16日の全国とよさと軽音楽甲子園でも3位に選ばれた。

OPERA LAND コンサートプロデューサー・CD制作 音楽教室・レンタルレクシススタジオ. Includes QR codes and contact info.

イトウスポーツ 代表取締役 伊藤 修治 (高17回) TEL.046(224)9397・(223)3458

“本物志向の金物店” 建築金物・家族金物・工具・刃物 (有)足立原商店 代表取締役 足立原 強 (高16回)

OPERA LAND コンサートプロデューサー・CD制作 音楽教室・レンタルレクシススタジオ. Includes QR codes and contact info.

令和元年度 部活動大会実績(県大会ベスト16位以上)

部活動名	受賞日	具体的名称	種目・団体	成績	大会レベル
フェンシング部	4月12日	関東高等学校フェンシング大会	団体	3位	関東大会
弓道部	5月3日	春季大会兼関東大会県予選会	個人	7位	県
弓道部	5月4日	春季大会兼関東大会県予選会	団体	3位	県
弓道部	5月4日	春季大会兼関東大会県予選会	個人	5位	県
弓道部	5月19日	第57回総合体育大会兼第64回全国総合体育大会県予選会	個人	7位	県
弓道部	6月9日	第63回関東高等学校弓道大会	団体	ベスト16	関東大会
弓道部	6月19日	第57回総合体育大会兼第64回全国総合体育大会県予選会	団体	5位	県
弓道部(男女共)	8月17日	第21回紫瀬旗全国高校遠的弓道大会	団体	出場	全国大会
弓道部	8月24日	神奈川大会個人の部兼関東高等学校弓道個人選手権選抜大会県予選	個人	3位	県大会
弓道部	9月7日	第38回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会	個人	出場	関東大会
弓道部	11月3日	神奈川県団体の部兼全国高等学校弓道選抜大会県予選	個人	優勝	県大会
弓道部	11月10日	神奈川県団体の部兼全国高等学校弓道選抜大会県予選	団体	優勝	県大会
弓道部	11月23日	神奈川県高等学校弓道新人大会	個人	4位	県大会
弓道部	11月24日	神奈川県高等学校弓道新人大会	団体	5位	県大会
弓道部	11月24日	神奈川県高等学校弓道新人大会	個人	3位	県大会
弓道部	12月23日	第38回全国高等学校弓道選抜大会	個人	出場	全国大会
弓道部	12月25日	第38回全国高等学校弓道選抜大会	団体	ベスト16	全国大会
軽音楽部	4月27日	KANAGAWA BAND SHIP2019		優勝	県
軽音楽部	4月29日	NAONのYAON2019		出場	全国大会
軽音楽部	6月9日	全国高等学校軽音フェスティバルin大阪城		Roland賞(ベストチームワーク賞)	全国大会
軽音楽部	6月16日	テクノス学校対抗バンドコンテスト		準優勝	関東大会
軽音楽部	8月8日	全国高校生アマチュアバンド選手権		出場	全国大会
軽音楽部	8月21日	第7回全国高等学校軽音楽コンテスト		優秀賞	全国大会
軽音楽部	8月22日	OTODAMA 甲子園2019		ベスト8	県大会
軽音楽部	11月3日	MUSIC DAYS FINAL 2019		準優勝	関東大会
軽音楽部	11月10日	神奈川県高等学校総合文化祭 第17回軽音楽コンクール		準優勝・奨励賞・専門部会長賞	県大会
軽音楽部	11月16日	第9回とよさと軽音楽甲子園		3位	全国大会
軽音楽部	12月8日	第5回 We are Sneaker Ages 関東グランプリ大会		優勝	関東大会
山岳部(男女共)	5月26日	第57回神奈川県高等学校総合体育大会 第63回全国・高等学校登山大会神奈川県予選	団体	優秀校	県大会
山岳部(男女共)	10月4日	第63回関東高等学校登山大会	団体	出場	関東大会
新聞部	11月11日	第69回神奈川県高等学校新聞コンクール		優良賞	県大会
新聞部	12月17日	第24回全国高校新聞年間紙面審査賞		入賞	全国大会
吹奏楽部	8月10日	第68回神奈川県吹奏楽コンクール		金賞	県
吹奏楽部	9月14日	第25回関東吹奏楽コンクール		銅賞	関東大会
吹奏楽部	11月4日	第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会		優秀賞	全国大会
ソフトテニス部	4月29日	平成31年度 関東高等学校ソフトテニス大会 県予選会	団体	7位	県
ダンスドリル部	3月25日	USA School&College Nationals 2019	団体	Pom Dance部門 2位	全国大会
ダンスドリル部	8月17日	USA Japan チアリーディング&ダンス学生新人大会2019	団体	2位	関東大会
ダンスドリル部	11月30日	ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP 2019	団体	審査員特別賞	全国大会
陸上競技部	6月22日	第74回神奈川県陸上競技選手権大会	男子5000m	2位	県大会
陸上競技部	6月30日	第74回神奈川県陸上競技選手権大会	男子1500m	優勝	県大会
陸上競技部	8月5日	令和元年度全国高等学校相互体育大会陸上競技大会秩父宮賜杯 第72回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会	男子1500m	14位	全国大会
陸上競技部	10月19日	令和元年度 第23回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会	男子1500m	優勝	関東大会
陸上競技部	10月20日	令和元年度 第23回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会	男子5000m	優勝	関東大会
陸上競技部	10月20日	令和元年度 第23回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会	男子400m	7位	関東大会
陸上競技部	10月20日	令和元年度 第23回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会	男子4x400mR	8位	関東大会

つるくぼ
耳鼻咽喉科

日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長
医学博士 鶴窪 一行(高26回)

〒243-0018 神奈川県厚木市中町3-3-22
TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

 **教科書**
(有)内田屋書房
☎046-258-6722

代表取締役 内田 喜康(高13回)

■厚木市泉町4-1 第五内田ビル3F
■東京農大厚木キャンパス店

葉山法律事務所

所長・弁護士 葉山 岳夫(高7回)
神奈川県弁護士会所属

〒243-0018 神奈川県厚木市中町4-4-10
アイディーコート本厚木シティゲート201号
電話 046(297)3415 FAX 046(297)3416
メールアドレス hayama_law@king.odn.ne.jp

支部会便り

秦野戸陵会

公私共に縁深かった「やなぎ家」

大野 真一 (高37回)

やなぎ家と言えは、秦野の中心四つ角にある老舗割烹。夏になると鰻のかば焼きを買いによく行くお店でした。また小宴会とか仕出しもやなぎ家が多かったと思います。そんなやなぎ家が店舗の老朽化、昨年の台風での被災、後継者問題でなんと令和2年1月31日で閉店というニュースが市内を駆け巡りました。

私にとってやなぎ家と言えは秦野戸陵会との関りの主な現場であった。最初は総会に父である大野訓男(高11回)や、その盟友片



秦野戸陵会総会の会場は定番「やなぎ家」。冠婚葬祭でも大変世話になった。

総会に参加すると私が厚高受験した時の中学校の校長先生、関野和夫(中39回その1)先生などおられて、妙に楽しく嬉しかったと記憶しています。早々に記念写真など仰せつかつて張り切っていたら、ある時、当時の会長藤野誠(中34回)先輩に、「今ここにいる奴全部今年から幹事だからね」と言われて、随分ドキドキしたけれど、以来幹事をやったりするのにも、縁なのかなと。

く、高橋昌和(高27回)市長も多忙の中参加され、盛会となりました。次からどこで会合や総会をやったら良いのか、という大きな問題

平塚戸陵会

全国に轟く厚木高校弁論部

会長 落合 重治 (高13回)



昭和33年4月、憧れの伝統古き県下に轟く名門厚木高校に入学出来たことの喜び、そして62年前のその時を今でも思い出します。厚高弁論部で最初に文部大臣賞に輝いた山口宗平氏(高5回)、続いて井上晃氏(高9回)が荻野中学校の先輩でした。神奈川県下中学校弁論大会は厚木高校で開催されており、私も先輩たちに指導をしていただきました。そんな関係で、「厚高に入学出来たら弁論部に入部」を考えていました。その後も平片勝美氏(高10回)が文部大臣賞を獲得しました。

が残りしましたが、楽しいひと時を過ごせたのも柳川先輩以下やなぎ家さんの心尽くしのおかげです。やなぎ家さん本当にありがとございました。

入部したのは田島、落合の2名でした。昭和33年6月、足立原先生は県教育委員会に栄転、その後厚木市長にられました。6月から中村好一先生(中22回)が顧問を引継いで下さいました。昭和33年の難波浩広応援団長(高11回)の下での厳しい練習は今でも語り継がれています。同様に弁論部も孤塚で発声練習、喉はかれ、声も出ないほど練習した思い出があります。3年生から「声が小さい、聞こえない」と言われ夢中で声を出した思い出があります。その3年生の中に文部大臣賞を獲得した、養葉照司氏(高11回)がおられます。素晴らしい表現力で、観衆を魅了する説得力がありました。特に当時若者達が暴走族となり世間を大変騒がしておりました。日活映画で石原裕次郎主演の「明日は明日の風が吹く」や「風速四十米」これを題材にして若者の更生に結びつける、序論、本論、結論の三段論法は高校生として文章が素晴らしいと新聞社の評論があったことを覚えております。

い出しました。宿泊先の旅館で中村好一先生と将棋をした時、私が先生に勝ったら、「化学の点数10点水増ししてくれませんか」と冗談言いながら5番勝負をしたはずですが、翌日は木下恵介監督の「喜びも悲しみも幾年月」の映画のロケ地を小名浜高校の生徒に案内していたとき、楽しい2日間でした。厚高弁論部時代の「自分の主張はハッキリ言いました、相手の立場を考える事が大事」と教えていただいた。しかしながら残念なことに現在は弁論部は廃部になっております。しかし現在はダンスドリル部、軽音楽部など全国大会で活躍する部活動も増えて、また女子生徒が4割で、地元中学出身より小田急沿線の川崎、小田原方面、相鉄沿線の横浜からの生徒が多くなり、県下の中学から人気もあり、神奈川県下高校重点進学校として、翠嵐、湘南、相陽、厚木の4校が選ばれたことは、益々レベルが高くなっています。現在私は、厚木高校同窓会の副会長で微力ながら同窓会活動に努力しております。同窓会本部の事業のうち5月鶴沼海岸での地引網大会では、各支部から毎年150名以上の参加があります。10月に開催される青春かながわ校歌祭は応援団OB、ブラスバンドOB、ダンスドリルOGと各同窓会支部約150名余りが参加し、校歌、応援歌を歌い厚高時代の青春を満喫しております。また愛川戸陵会主催の同窓会「思い出の杜に親しむ会」と同窓会の「チャリティーゴルフコンペ」の開催を楽しみにしています。是非とも同窓生の皆様のご参加をお願いいたします。

厚木ハートケアクリニック
http://www.atsugi-heartcare.com
院長 循環器専門医 伴野 富佐子 (旧姓・難波) 高37回
〒243-0203 神奈川県厚木市下荻野1476-1 ソルローマ本厚木1F
TEL.046-243-5533 FAX.046-243-5503

麺々食堂
厚木で生まれて半世紀。
シンプルでありながら素材にこだわり。
変わらぬ味と透き通ったスープと、
コシのある自家製麺が自慢の中華そば
(株) SANTA CALA 望月 治男 (高16回)

株式会社 肉の田口
厚木市水引1-15-12 046-221-0822
年中無休 営業時間AM10:00~PM7:00
炭火焼 ホルモン カルビ焼 焼肉の田口
代表取締役社長 田口 幸一 (高29回)

愛川戸陵会

喜怒哀楽、思い出の学び舎

新井 寛明(高21回)

1年生に入学したときは、旧校舎で生活しました。最初の驚きは「応援練習」でした。夏の高校野球の県予選が近くなると、中庭に集合して昼休みに練習をしまし...

良い思い出として残っています。2年生の時は、旧校舎の取り壊しのため寿町の旧厚木東高校(現厚木小学校)での生活でした。本厚木駅が近くになり、通学が楽になりました。その年の思い出は、何...

という美しい曲はとても印象に残っています。3年生になると、新校舎が一部完成し、3年生だけ入ることができました。体育大会では、フォークダンスの時に3年生にある「特権」が与えられました。当時の厚高は、女子生徒の数が1割くらいでしたので、そのプログラムの中には東高から女子生徒が応援に来てくれました。当日になりました。男女で1列にならび、ペアを組みました。しかし、女子の数が足りず身長の高い男子は女子役にまわることになってしまいました。私もその一人でした。運のなさを感じる1日となってしまいました。(笑)

清川戸陵会

所帯は小さくとも、皆元気で頑張っています



少数精鋭で活躍する清川戸陵会の役員たち

この微笑み、皆さん元気で。令和2年2月8日、地元食事処「花の木」で、「清川戸陵会」総会が開催されました。諸般の事情により、例年よりだいぶ遅い総会となりました。総会は、事業報告・決算報告、事業計画・収支予算案の審議と進められましたが、今年度は役員改選の年度にあたり、また下嶋和美会長(高20回)のご勇退に伴い、新役員を選出することになりました(後掲)。

相模原戸陵会

第31回定期総会に38名が参加

事務局長 三沢 賢一(高21回)

令和元年5月25日(土)、相模原市民会館「あじさいの間」で、第31回相模原戸陵会定期総会を開催しました。当日は、曾根秀敏厚木高校同窓会会長、樋口一孝厚木高校副校長をお迎えし、初参加者6名を含む38名の同窓生が集い、令和の相模原戸陵会が始まるはずのスタートを切りました。始めに金

子輝司会長がご挨拶し、引き続き、曾根会長、樋口副校長からご来賓の祝辞をいただきました。総会案件につきましては、全て総員賛成で可決されました。恒例の記念講演は、国語科教師として厚木高校でも教鞭を執られた、初参加の岩壁清吉先生(高19回)にご登壇いただき、《厚高を基底に教えるこ

とで教わった55年間」と題して、創立百周年記念の時に出版された「戸陵百年の歩み(歴史編)」(平成15年3月丸井図書出版)から、氏が執筆を担当された第5章を中心に厚木高校の歴史の概要をお話しいただきました。配布資料の中には多くの卒業生の名前が登場している、厚木高校百年の壮大な歴史の骨格を造っているかのよう

小田原市在住の応援団OB、石川芳雄氏(高27回)が参加され、校歌や応援歌などをたっぷりご披露いただきました。会場が大いに盛り上がりました。令和元年度の相模原戸陵会は、本部の各種行事に参加するともに、8月の納涼会、2月の賀詞交歓会など支部独自の活動を通じ、同窓の絆を深めてまいりました。令和2年4月の緊急事態宣言以降は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定期総会を始めとする事業の開催ができず困惑しています。今後は、本部や各支部の動向を参考にし、活動再開の方法を検討していきたいと考えています。

- 新役員(敬称略)
会長 山田 和彦(高24回)
副会長 山口 朝生(高25回)
書記 落合 秀夫(高27回)
事務局長(兼務) 守屋 薫(高29回)
会計監査 岩沢 澄夫(高18回)
下嶋 清一(高19回)
広報委員・山田和彦(高24回)

経産省選定
地域未来牽引企業
アイフォーコム
IFORCOM
代表取締役 加川 広志(高25回・津久井戸陵会)

住友重機械工業グループ
住重横須賀工業(株)
顧問 飯島 正明(高23回)
〒237-8555
神奈川県横須賀市夏島町19番地
TEL 046-869-1707
FAX 046-869-1648

あつぎ飯山温泉
元湯旅館
代表取締役 石川 範義(高10回)
神奈川県厚木市飯山4916
TEL.046-242-0008(代)
FAX.046-241-8975
●東京案内TEL.03-3207-0008
●URL http://www.motoyu.co.jp

座間戸陵会

第32回支部総会開催

講演は平本氏(高29回)「我が国の安全保障」

市川 章(高29回)

座間戸陵会(大矢正次会長・高14回)では、第32回定期総会を、昨年6月16日に座間神社「すいめい」にて、学校からは樋口一考副校長、同窓会からは落合重治副会長、志村祐一事務局次長、そして他支部から3名の来賓の方にご出席いただき、加藤隆夫幹事(高21回)の司会進行により盛大に開催いたしました。

総会では、大矢正次会長が議長となり事業報告、会計報告、新年度の事業計画案が審議され可決承認されました。

今年の講演会は、元航空自衛隊空将の平本正法氏(高29回)を招いて「我が国の安全保障」と題して講演をしていただきました。平本氏は、高校時代は応援団で活躍され、その後防衛大学から航空自衛隊に入隊。全国の各基地や米国の勤務を経験し、入間基地に司令部を置く中部航空方面隊司令官を最後に2016年に退官されました。

講演の内容は、航空自衛隊の組織や現状、世界情勢と各国の軍事状況、自衛隊の今後の課題などを話していただきました。平和な毎日が続くのが当たり前で、北朝鮮のミサイル発射事件のニュースを聞いて多少緊張感を持つ程度でしたが、平本氏の話を聞き実際の世界情勢の緊迫した状況がよくわかりました。一番衝撃的だったのは、



学校や同窓会本部からの来賓で、毎回盛大に開催される座間戸陵会の総会



創立100周年に筆者(菅野)制作・寄贈された旧校舎復元建築模型

校の近況報告、出席者からは高校時代の思い出話などを話していただき、楽しい時間を過ごすことができました。

津久井戸陵会

旧校舎は青春の思い出と 伝統、文化、誇りの象徴

会長 菅野 敬子(高18回)

私が厚高に在学していたのは、半世紀余り前。今では完全死語となったが、戦後生まれの「現代っ子」世代であり、又2025年問題の大本世代でもある。

当時学年に於ける女生徒の総数が30名、全学年でも60余名。従って、体育祭恒例のフォークダンスでは男女ペア成立の確立の悲喜劇

そして、青春時代に思いをはせながら校歌を熱唱し、佐藤裕洋幹事(高10回)の閉会の言葉で散会となりました。

的低さは必然の成行き。又応援合戦では、女生徒仲間で作りの白いミニスカと赤いノースリーブのコスチュームで、バントトワリングの応援を上演。現在新しき伝統を形成したダンスドリル部の前身・走りは私達?んん?。それは置いて、フォークダンスに纏わるエピソードを。実は新聞

部OBの私が創立80周年記念厚高新聞縮刷版の中で見出した、「高校で描く日本(県立岡崎高校)」の見出しのスポット記事。同校校長の「フォークダンスは我々の校訓の質実剛健に反するみだらな行為である」との禁止発言に端を発した物語の顛末である。結果は流石に全国的支援の反響に加えて、県教育委員会の「フォークダンスは高校の指導要録に入っているのに禁止するのはおかしい」との通告もあり、無事生徒会主催新人生歓迎フォークダンスが実施されたとのこと。改めて当時の時代性を感じ入った次第である。

もう一つ厚高校舎に纏わるエピソードを。前記事を遡ること3年、昭和35年4月桜の頃、下村湖人の自伝的教養作品「次郎物語」(S6年)を映画化した「若き日の怒り」のロケ先として本校が選ばれて、エキストラとして多数の生徒が出演したこと、ご存知でしょうか?

県立第三中学校として、和洋折衷の建築様式で建てられた威風堂々たる学舎。当時でも稀少な古き風格と風情からロケ地として選ばれたのである。

私個人、厚高の伝統と文化の象徴的存在だったこの校舎で3年間過ごした最後の学年として、格別な思いと誇りと愛着がある。そしてその思いが昂じて創立100周年の際、校舎の復元建築模型(縮尺1/200)を制作、寄贈させていただきます。

津久井戸陵会総会では話題の材にと借り受け披露し、大いに楽しんでいただいた。

エントランスに展示の予定もあり、様々な思いを馳せる一助に! その折にはどうぞご覧あれ。

創業明治十三年 大矢製畳株式会社 代表取締役 大矢 正次 (高14回) 〒252-0027 神奈川県座間市座間1-4188 (座間小学校西側) TEL 046-251-0032 FAX 046-251-6848

総合電気設備工事 眞崎電工株式会社 代表取締役 眞崎 和秋 (高22回) 〒252-0027 神奈川県座間市座間1-3275 TEL 046-251-2054 FAX 046-255-5488 MAIL mdk@mbe.nifty.com

(有) 神山クリーニング店 取締役会長 神山 宏 (高17回) 〒252-0027 神奈川県座間市座間1-3185-2 TEL: 046-251-0201 FAX: 046-255-2525 携帯: 090-2451-9778 MAIL: kamiyama@tanzawa.or.jp

伊勢原戸陵会

伊勢原戸陵会設立70周年

顧問 近藤 俊二(高6回)

あれから70年、人生には不思議な縁があるものだ。

私が伊勢原中学校2・3年生の時の担任は、授業中の余談がお上手で、お酒の好きな平本先生(中29回)昭和25年当時、32、33歳であつた。ある帰りのH・Rで「今日はこれから、大先輩と一緒に同窓会があるんだ」と嬉しそうに話をされたことがある。

ずっと後で判ることだが、あの集いこそが、何と現在各支部で行われている、各戸陵会総会の第一号だったのである。そんな訳で、戸陵会支部の名簿が出ると、常に

伊勢原・秦野・津久井・平塚と結成順に戸陵会名が出てくることになる。

さてその翌年、私は晴れて厚木高校に入学、40歳になったころ「白風呂敷と小倉服を懐かしむ会」の末席に招かれることになる。多い時は、参加者が100名を超えることもあつた。明治・大正を経た先輩方の話は楽しかった。冬場の寒稽古は全員参加、真つ暗な4時頃家を出る。途中、田んぼに積んである稲わらを燃やして暖をとる、時には焼いもを焼いて食べながら学校へ。時間がかり過ぎて、



母校100周年記念式典に、小倉服(学生服)に高下駄、白風呂敷姿で臨む伊勢原戸陵会の面々

走って戸室の坂を上ったことも。もちろん、高下駄は白風呂敷と共に首にぶら下げて...など。

母校100周年記念式典の時、私たちは戸室の坂を小倉服(学生服)に高下駄はき、白風呂敷を肩からかけ、正門で写真を撮り、学校に入っていたのも懐かしい。

そこで我が戸陵会では、今年の総会を「第70回記念」と冠をつけ、恒例の大山登山を行った後、親子2代(中40回卒・高26回卒)の先導師武田旅館で総会を持つとうと計

綾瀬戸陵会

4代目に向けて子育て奮闘中

武藤 龍太郎(高60回)

一昨年に待望の長男が誕生し、日に日に色々なことができるようになり、息子が成長していく姿を楽しみに生活しています。将来は自立してしっかりと社会人になつて欲しいと思います。まずは、基本が大事なので、本の読み聞かせをしています。しかし、最初は本を読むことよりも、ページをひたすらめくることに熱心で、時には夢中になるあまり本を破いてしま

い困っていました。最近では読んで欲しい本があると自分から本を持ってきて、私の膝の上に座って熱心に読むようになってきました。

また、運動神経も良くなつて欲しいと思います。なるべく歩かせようとは思いますが、自分が歩くところではないと思うと、すぐに抱っこして甘えてくるので、私もその可愛さに負けてしまい、すぐに

画しています。どうぞ、各支部から大勢のご参加を役員一同、心からお待ちしております。

70周年記念大山登山のご案内
とき/令和2年10月25日(日)
参加費/交通費、軽食は各自負担
懇親会会費は7000円

申し込み/各支部単位にて
※各支部長宛に案内・申込書送付
問い合わせ/齊藤実
0463・94・3732
090・1107・6030

抱っこしてしまいます。(妻には、いつも口では厳しくすると口でいっているのに息子に甘すぎると怒られます。)

そんな中で、まだまだ気が早く、息子の将来に父親があまり口出すのは良くありませんが、唯一息子が願っていることは、息子にも厚木高校に入学して欲しいという



祖父から、1昨年誕生の息子まで、何とか4代続けて母校へという「特訓中」

ことです。

祖父や父も厚木高校で、私で3代目なので、息子にも厚木高校に入学して4代目になって欲しいという気持ちもありますが、やはり、自分が厚木高校に通つて、様々な経験をし、素晴らしい同級生に会うことができ、本当に厚木高校での3年間は私の人生の礎となつたので、息子にもそういう環境で有意義な3年間を過ごしてほしいと思うからです。

しかし、私は、祖父や父から厚木高校に行つて欲しいと言われたことは一度もなかったです。では、どうして、僕が厚木高校を目指したのかを振り返ってみると、小学生の頃に祖父から、祖父も父も厚木高校に通つていたことを教えてもらい、うちの家系はみんな厚木高校に通うものなのかなと思つたのと同時に自分も入学できたら3代目でなかなか珍しいことではないかと思つたからです。そう考えると、息子にもうちの家系はみんな厚木高校に通うものだと思つてもらふことが大事なので、毎年戸陵祭に行くことを恒例行事としていきます。しかし、まだ10数年先の話ですが...

～お酒のご注文は～

(高29回)

小沼酒店

ONUMA LIQUOR STORE

TEL 0463-94-3438

FAX 0463-92-3902

〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台1-12-14

＝おかげさまで99年＝

三橋建設産業(株)

代表取締役 三橋 要(高21回)

一級建築士 一級建設施工管理技士
一級土木施工管理技士

本社/神奈川県伊勢原市田中975

事業部/神奈川県伊勢原市板戸806

TEL 0463-95-1133

FAX 0463-94-2727

たかはし歯科

つとむ 高橋 力(高18回)
(通称 ミスタートム)

神奈川県伊勢原市桜台2-22-1 不二ビル2F

TEL 0463-94-8888

FAX 0463-94-8840

小鮎戸陵会

「ソフトバレーボール」を楽しむ



来年の「ねんりんピック神奈川大会」の成功をめざす小鮎戸クラブ

吉岡 章(高25回)

レールボール関係の知人から「小鮎戸クラブ」でソフトバレーを一緒にやろうと誘われました。これがのめり込むきっかけとなりました。

小鮎戸クラブは創設20年で、メンバー15名、チームとしては週3回、私個人は金曜と日曜の週2回の練習をしています。年齢はほぼ同年代ですが、練習では若いチームも一緒に練習しています。過去にはいろいろな全国大会に出場しているチームです。私もそんなチーム

に入り、一緒に練習し、技術を磨いています。また、全国各地に知り合いのチームがあり、遠征にも月1回以上のペースで出かけています。そのおかげで全国にバレー仲間が増えました。

今年、小鮎戸クラブは創立20周年を迎え、2月に記念交流試合と懇親パーティーを開催しました。全国から120名を超える人たちに参加いただき、非常に有意義な交流が図れました。

さて、ソフトバレーボールとはコートはバドミントンコート、ネットの高さは2m、ボールは外周が78cmのゴム製、4人制で男女や年齢別でカテゴリーが色々あります。我々のチームは男女各2名のトリムで、50歳台の時はシルバートの部、60歳になってからはゴールド

の部に主に出場しています。ソフトバレーを始めて5年後の2014年に60歳以上の団体と言われる「ねんりんピック」の全国大会に神奈川県代表として出場し、見事優勝することができました。2018年にも出場することが出来た。その時の開催県の方たちの歓迎ぶりに非常に感激しました。

2021年にねんりんピックが神奈川県で開催されます。私もソフトバレーボールの役員として以前に味わった感激を今度は来県される方々にお返ししたいと思っております。皆さんも、良い仲間、良い運動をし、良いお酒を飲んで、いつまでも健康で、元気で楽しく人生を送るために、ソフトバレーを始めてみてはいかがでしょうか。

そこで、「神奈川リハ」が行っている運動能力の測定を実際に体験させていただきました。被験者として当会員の越智裕氏(高25回)の体に測定器具を装着し、室内の数台の赤外線カメラで歩行の様子を撮影、リアルタイムでモニターを映し出すのを見せられました。

玉川・森の里戸陵会

秋の研修会報告

県総合リハビリテーション事業団見学

会長 三橋 敬司(高18回)

今まで地域にある「宝」に光をあてて見聞を広めてきました。今回は七沢にある社会福祉法人「神奈川県総合リハビリテーション事業団」(以後、「神奈川リハ」と称す)のリハビリテーション工学科を訪

問しました。「神奈川リハ」は1973年に設立されてからおおよそ半世紀にわたって先進医療の臨床研究、治療を推進し、特に、設立当初は「東洋一」の設備を誇ると

言われていました。

リハビリテーション工学科では、義肢、義装具、体の動きを補助するロボットなどの研究開発をするセクションで、病院内の一組織の中で義装具の研究や製作をしている所は珍しいとのことでした。また、ここではリハビリを進めるにあたって患者一人ひとりの体幹や歩行等運動能力を科学的に測定し、データをもとに治療、訓練のプログラムを設定し患者に提供しているとのことでした。

今回、「神奈川リハ」が行っている運動能力の測定を実際に体験させていただきました。被験者として当会員の越智裕氏(高25回)の体に測定器具を装着し、室内の数台の赤外線カメラで歩行の様子を撮影、リアルタイムでモニターを映し出すのを見せられました。

最後に、「神奈川リハ」の研究成果の一端を見せていただきました。そこには、パラリンピックで活躍が期待されるスキーマの滑降で使われる「チェアスキー」の発祥の地であることやその人の必要に応じた様々な車椅子が展示されていて、地元について初めて知ることが多かった研修会でした。



歩行を科学的に測定する神奈川総合リハビリテーション工学科

少ないこと、右肩が下がりが気味の姿勢などが指摘され納得する一方、歩幅は同年代の平均より広いことや、左右の足で支える力が違っていること、床面を蹴る反発力が強いことなどを挙げられ、自分では思ってもいなかったことで意外でした。また、このような分析でスポーツ選手の骨折の原因究明をしていることなどの説明もあり神奈川リハビリテーション病院リハ工学科の活動を知る機会となりました。

後日、さらに詳しい検査結果をいただいた際には、同年代の平均値に今回の検査を重ねたグラフを示され、その中で膝から上の動きは平均値以下だが足首から下の動きは平均値以上と分析され、当日の解析結果を含め短時間での計測でここまでわかるのかと驚きました。

最後に、「神奈川リハ」の研究成果の一端を見せていただきました。そこには、パラリンピックで活躍が期待されるスキーマの滑降で使われる「チェアスキー」の発祥の地であることやその人の必要に応じた様々な車椅子が展示されていて、地元について初めて知ることが多かった研修会でした。

最後に、「神奈川リハ」の研究成果の一端を見せていただきました。そこには、パラリンピックで活躍が期待されるスキーマの滑降で使われる「チェアスキー」の発祥の地であることやその人の必要に応じた様々な車椅子が展示されていて、地元について初めて知ることが多かった研修会でした。

安 有限会社

秋山安太郎石材

代表取締役 秋山 良次(高27回)

事務所 神奈川伊勢原市日向576番地
電話 (0463) 95-2490
FAX (0463) 91-4144
工場 (0463) 94-1222

株式会社 松本企画

代表取締役 松本 茂(高20回)

〒259-1114
神奈川県伊勢原市高森2-17-6
TEL 0463-95-8668
FAX 0463-95-8670

神奈川県知事登録(10)12573号

有限会社 一伸工業不動産部

代表取締役 村井 良行(高21回)

事務所 〒243-0213
神奈川県厚木市飯山3061番地
電話 046-250-0071
FAX 046-247-1688
携帯 090-3136-3358
Mail info@issin-kogyo.com

荻野戸陵会

64年振りに母校を訪ねて

関原 金次(高8回)

この度、思いがけなく奇稿の依頼を受けた。そこで、厚高時代の記憶を回想するため、卒業後初めて64年振りに母校を訪ねてみた。

そして、玄関前の枝振りの見事なヒマラヤ杉が創立百十年余りの威光を放っている。さらに、大先輩である茅誠司先生の文筆による「造園記念碑」が設置されている。また文部科学省指定「スーパーサイエンスハイスクール」(国際社会リーダーの人材育成目的校)の掲示に目を惹かれた。加えて校門の東端には、2メートル余の鋼鉄製三剣のシンボルとして「戸陵の鐘」が校風を醸し出している。

厚木戸陵会

光り輝け!“三剣”

会長 橋本 和己(高18回)

あなたのモットーは?と聞かれたら「智・仁・勇」と応えている。私が厚高時代を過ごしたのは半世紀以上も前の事である。三剣輝く学帽をかぶり、1年生の時はカラコ口と下駄ばきで通学した。多くの善き友に恵まれ有意義な高校生時代だった。

つい先日、母校を訪ねる機会があった。卒業以来初めてであった。あの当時の木造建ての古風豊かな懐かしき学舎は既に、4階建て鉄筋コンクリート校舎に変貌していた。あの温もりのある木造の床、奥ゆかしい木造の階段、渡り廊下

入学時、応援団による質実剛健のもと、校歌、応援歌の激しい練習を受けたことや田村堀の全校マラソン大会も懐かしい。次に、校庭の印象を紹介したい。まず校門の両側に聳える銀杏と桜の大樹に年輪を感じる。

校庭内の樹木(銀杏・ヒマラヤ杉・椎・檜等)は、何れもひと抱え以上はある大木で、厚高の歴史と発展を証している。そぞろ威厳と威圧が感じられる。厚高は県の「学力向上進学指定校」だが、勉強のみでなくクラブ活動も大変充実とのこと。「祝全国大会参加」と校門に掲示されているクラブを、皆様に紹介したい。

○弓道・新聞・軽音楽・吹奏楽・陸上・ダンスドリル この度の訪問は、私にとって青春の思い出を蘇らせてくれ、認知機能の活性化にもなり、併せて母校の歴史と活躍に接し、感謝と誇りを感じさせてくれた素敵なひと時であった。

この度の訪問は、私にとつて青春の思い出を蘇らせてくれ、認知機能の活性化にもなり、併せて母校の歴史と活躍に接し、感謝と誇りを感じさせてくれた素敵なひと時であった。

睦合戸陵会①

真夏のバーベキュー大会

会長 平野 亮二(高27回)

睦合戸陵会の親睦会として、昨年8月24日に平野会長実家の裏庭にて真夏のバーベキュー大会を開催いたしました。

当会は、同窓会事務局長の石塚修氏が所属していることから、同窓会副会長で厚木連合会長の伊藤修治氏、同窓会事務局次長の志村祐一氏、同会計の安藤康恵氏、そして後藤祐一代議士をゲストとして酷暑の中、盛大に開催いたしました。

の實の子が思い出された。さらに脳裏に鋭く浮かんだのは、石畳の中庭!そこで練習した校歌や応援歌。三剣光り輝く見ずや。今でもふと口ずさむことがある。半世紀前のしかもその時のたった3年間だけだった歌なのに何故か歌詞が今も自然に蘇ってくる。この三剣即ち、剛健、真剣、勤儉の「智・仁・勇」の三徳はずっと己の律として

大学卒業後、地元の横浜銀行に就職した。地域密着の銀行なので厚高出身者が多く、有志による「はまぎん戸陵会」があり、年1回集



平野会長の実家で開かれたバーベキュー大会。本部役員から後藤祐一代議士(高39回)など多数の来賓を迎えて盛大に開催。

株式会社 U・P・M
代表取締役 梅田 和治 (高18回)
〒252-0206
神奈川相模原市中央区淵野辺5-9-11
TEL: 042-752-4719
FAX: 042-752-4466
MAIL: k-umeda@jcom.home.ne.jp

すすきのほいくえん
子ども一人ひとりを大切に、
子どもが明日も行きたいと思う保育園を目指します。
社会福祉法人 すすきの保育園
理事長 三沢 賢一 (高21回)
〒252-0213
神奈川相模原市中央区すすきの町2番6号
TEL 042-752-3044
FAX 042-707-7353
MAIL susukinohoikuen2-6@hop.ocn.ne.jp

ひとりでも悩まず御相談ください。個人も法人も対応できます。
小田急相模原駅前
大久保博通法律事務所
弁護士 大久保 博通 (高18回)
〒252-0314
神奈川相模原市南区南台5丁目11番19号
ペアナードオダサガ301-1
TEL 042-741-8788
FAX 042-742-7785
MAIL h.okhubo@fine.ocn.ne.jp

睦合戸陵会②

七宝作家の常信明子さん(高62回)に聞く

広報委 吉川 昭(高26回)

BSフジ『ブレイク前後』次世代の芸術家たち』で紹介された新進気鋭の七宝作家常信明子(ジョウシン ヒロコ)さん(高62回)を紹介させていただきます。

「そういえば、高校生の時に着けていたバッジも七宝焼きでしたね、まさかそれを仕事にするとは思いませんでした」そんな言葉が出てきたのでびっくりしました。同窓生の男性であれば学ランの詰襟に、女性であれば制服の襟に着けていた学年別色違いクラス別アルファベットのバッジです。あれは七宝焼きだったので、皆さんはバッジの色覚えていますか。高校生の頃の思い出と七宝との出会い、七宝作家の誕生の経緯を常信さんにお聞きしました。

厚木高校での思い出はそのほとんどが部活のことばかりです。吹奏楽部に所属してトランペットを担当していました。授業前の朝練習から始まりお弁当は授業間の休み時間に急いで食べてお昼休みもまた練習、そして授業後も練習、土日の休みもほぼ毎日練習に明け暮れました。

今思うとよくそんなに長い時間やっていたなあと思ってしまう程でしたが、その当時はもともと練習したいなと思っていただけな記憶があります。二年生の冬休み、今後の進路を考えなければという夕

イミングとなりようやく真剣に今後について考えた時、ふと頭に浮かんだのは小学校から続けていた「絵の教室」の事で、ほんやりと「美大もいいな」と思い始めました。そこから美大進学について調べ始めたので、タイミングとしては遅かったのですが、3年生になる直前から都内の予備校に通い始め、美術の勉強をスタートさせました。今まで部活一色だった生活が今度は美大一色に変わって行きま

予備校に通い始めた当初は漠然と、「デザイン」に興味を持っていただけですが、その勉強をする中で高校3年の秋頃、美術館での展示を見に行く機会があり、そこで初めて「工芸」というジャンルを意識することになりました。「デザイン」ですと、アイディアの部分を主に手掛ける面が大きいのですが、私は「工芸」が作品の構想を練る部分から実際にものを作り完成させるところまでほぼ全て自分の手で行うことができる部分に魅力を感じました。様々な素材をそれに合った技術を身につけて作品に仕上げていく「工芸」の勉強を大学ですべく、そこからは工芸科に目標を絞って受験勉強を進め

ていくことにしました。厚木高校に在籍していた現役生の時には残念ながら合格することはできませんでしたが、一浪での再チャレンジの末、東京芸術大学の工芸科に進学することができました。大学の工芸科では、1・2年生の間に様々な素材に触れる期間を設けてあり、私はそのなかで金属の細かい加工をする事に面白みを感じ、その技術を使って制作をしていく「彫金」を専攻しました。そこで、銅や銀や真鍮、それぞれの合金など様々な種類の金属を使った伝統的な技法を学び、作

品制作をしていきましたが、大学4年の最初の課題で初めて「七宝」という技法に出会いました。七宝は金属の表面にガラス質の釉薬を高温の電気炉の中で焼き付ける技法です。今まで金属のみの色の世界の中での制作でしたが、そこにガラスが加わったことで一気に色幅が広がって風にも変化が生まれました。そこから七宝の面白さにのめり込み、その後の卒業制作、大学院でも七宝の技法を使って制作をしました。



常信明子さんの作品・七宝焼き



常信明子さんの作品・七宝焼き

卒業制作をきっかけに少しずつ学外での作品発表の機会が増え、大学院時代からは作家生活を並行して行っていました。美術の作品を扱うギャラリーや百貨店での作品販売などをすることで、制作するだけではなく人に見てもらおうという面からも新しい刺激があり、難しい反面とても面白い経験を積みむことができました。卒業後は企業に就職する同級生

も多いのですが、七宝制作を続けたいという気持ちがあり作家としての進路を選択しました。現在は、作家業を続けることにより展示会での新しい人との出会いは勿論、高校時代の友人や先輩方も作品を通して繋がることができているので、本当に続けていて良かったと思っています。今後も、伝統的な技法である「七宝」をより面白く、美しく表現できるよう、その技法や魅力の力を借りて、自分の表現に引き合っていきたいと思っています。

2年間の修習後24才で裁判官になり、岡山、郡山、京都、岡崎と転勤し、37才の時、子供に故郷を与えてやりたいとの思いから退官し、桜と火花で有名な徳川家康生誕の地岡崎で弁護士になりました。刑事・民事・家事等多数の事件を処理し、平成8年には、負債額344億円の大型破産事件の管財人に任命され、全国86のスポーツクラブをダイエーに営業譲渡するため、事実上の社長として営業継続する等異例の管財業務でした。

家事調停委員にも任命され、離婚・遺産分割調停事件を多数担当し、72才の時、調停功労として瑞宝双光章を受章し、皇居で天皇陛下に拝謁しました。

依知戸陵会

ふるさとを離れての生活

古性 明(高14回)

私は、昭和37年厚木高校卒業の高14回生です。農家の生まれで、大学進学など考えたこともなかったのですが、3年生になると、2年生のクラスの友達の殆どが大学進学クラス希望であることを知り、ショックでした。父親に、授業料は奨学金とアルバイト代で払うから入学金を出して貰えないかと哀願したところ、たまたま農地

が県の企業庁に買収されたことで、入学金だけは出して貰えることになり、就職クラスに決まっていたが進学クラスに変えて貰えたのです。

しかし、生徒会長として夏のキャンプ、文化祭、体育祭等生徒会活動が忙しく、会長の任期が終わった11月になって本格的な受験勉強を始め、当時私学でも授業料

が安いという理由で中央大学法学部を受験し、合格できたのです。依知中学時代は厚木市の大会で1500メートル走優勝、駅伝大会で2年連続優勝、中学・高校で弁論大会優勝、中学・高校で生徒会長をする等、十分に青春してきたので、大学では勉強に励もうと決意し、大学2年生の秋から司法試験合格を目指して勉強し、幸いにも4年生で、しかも11番という成績で司法試験に合格することができたのです。

2年間の修習後24才で裁判官になり、岡山、郡山、京都、岡崎と転勤し、37才の時、子供に故郷を与えてやりたいとの思いから退官し、桜と火花で有名な徳川家康生誕の地岡崎で弁護士になりました。刑事・民事・家事等多数の事件を処理し、平成8年には、負債額344億円の大型破産事件の管財人に任命され、全国86のスポーツクラブをダイエーに営業譲渡するため、事実上の社長として営業継続する等異例の管財業務でした。家事調停委員にも任命され、離婚・遺産分割調停事件を多数担当し、72才の時、調停功労として瑞宝双光章を受章し、皇居で天皇陛下に拝謁しました。裁判官になって始めた硬式テニス。全国の裁判官検事弁護士が競う全国法曹テニス大会にトップクラスで出場し続けたり、40才の時に結成したPTAテニスクラブのお母さんやOGの方にテニスの指導を続けています。家から歩いて約10分のテニスクラブで、毎週土日の午後3時間、家族やテニス仲間とテニスをするのが何よりの楽しみです。

相川戸陵会

「相川地区人物伝」
上戸田老友会役員
小菅良夫氏(高11回)に聞く

広報委員 毛利 澄夫(高20回)

厚木市戸田にお住まいの小菅良夫さんは、昭和31年に高校入学の先輩。幼少の頃や高校時代の思い出等のお話を伺った。

幼少から小学生の頃は、相模川土手でチャンバラごっこで遊んだり、広々とした田園の中を全校児童でイナゴ取りをしたり、地域のお祭りのときはその地区の児童全体が学校を早退して神輿かつぎ。舗装道路はなく、砂利道や農道ばかり。そういうのんびりした環境で育ち、厚木高校には、雨の日でも砂利道を自転車通学した。1年から陸上競技部に所属し、中距離を中心に練習を続けた。2年まで頑張ったが、強豪競い合う中で、目立った成果は得られなかった。学業も苦手なもので、よく先生に叱られたり、高校の授業をサボって近くのキツネ塚に遊び

夏休み等の長期休みは、アルバイトに精を出した。米軍の座間基地内で引越等々の作業。将校室の壁一面が世界地図になっていて、海外の各基地へ直通電話がかけられると聞いてびっくりした。メッキ工場での作業も経験した。アルバイトは人生のよい経験になった。就職クラスにいたが、先生の勧めもあり、大学に進学することができた。大学卒業後は、会社員としての人生。高校時代の多様な経験と体力作りが大いに役立ったと思う。

現在、小菅さんは、田園や果樹園に囲まれた静かな中において、



小菅良夫氏(高11回)

体操・散歩(1日1万歩を目標)・読書・庭での野菜作りなどで過ごし、もうすぐ80歳。今は、コロナウイルス騒ぎで旅行に出かけられないが、そのうち落ち着いたら、また体を動かしたいとおっしゃる。若い時代に培った体は、エネルギーに溢れていた。

南毛利戸陵会

旧校舎や恩師、同期の仲間
憶い出多き我が戸陵

会長 小淵 正志(高18回)

私と母校厚高との初めての出会い、厚木中学校に在学中の昭和35年まで遡る。中学1年時に校内弁論大会を開催することになったが、当時は全校生徒が集まれるほどの講堂や、体育館がなかった。そのため厚高の講堂を借りることになり、戸室の坂を上って行ったことを覚えている。年季が入った古い講堂で、当時はまさかここで入学式を迎えるとは考えてもいなかった。当時は現在野球部とサッカー部が利用しているグラウンドの拡張工事が行われており、土盛りされた校庭が窓の外に広がっていた。厚高の弁論部は全国に名を馳せており、最後に弁論部員による模範弁論を披露していただいたが、やはり中学生の弁論とは雲泥の差があると思う。

さくら戸陵会

台風19号、コロナウイルスの影響で
二度にわたる総会の延期

剣持 典子(高26回)

戸陵会の女性部であるさくら戸陵会は、令和元年度の第7回総会を二度にわたって延期しました。昨年10月13日に厚木市飯山の元湯旅館で実施予定だったところ、東日本に大きな被害をもたらした台風19号の到来のため翌春に延期しました。改めて、本年3月29日に実施の予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、令和元年度の総会は中止となり、第7回総会は感染拡大が収束した後

に実施することになりました。講師としてお願いしていた内山順造医師(高33回)をはじめ、来賓の曾根同窓会会長、上前学校長、会場の元湯旅館、参加を予定して下さっていたさくら戸陵会会員の皆さまには、多大なご迷惑をおかけして、大変申し訳ありませんでした。



1昨年の第6回総会より

今回の同窓会報が発行される頃には、コロナウイルスの感染拡大が収まり、私たちがさくら戸陵会の総会も、三度目の正直で実施できる事を祈ってやみません。

が入学した。そのため教室が不足し、2教室が増築されたが、校舎が新築され古い校舎は取り壊された後も、その2教室はしばらく残っていた。3年時に使用した懐かしい教室でもあった。我々は古い講堂で卒業式を迎えた最後の学年であり、その年新校舎建築のため旧東高校の校舎に移り、間もなく校舎は解体されたが、体育館と戸陵会館は今でも残っており、母校を訪れる度に懐かしく思っている。私は現在緑ヶ丘在住であるが、職場に通っていたころは、毎日後輩たちを横目に母校の南側道路を通り徒歩通勤をしていた。今も街内に出るときは歩いていて、いつもグラウンドでの後輩たちの元気な姿を目にし、我々の時代に比べ、自由な校風が感じられ、つい後輩たちに「がんばれ!!」と声をかけた気持ちになる。母校への憶い出は尽きることが無い。

いて研究を深めており、今回の講演は「身体の中からアンチエイジング」最新の老化研究からというテーマでお願いしておりました。内山氏はまた、神奈川県医師会公衆衛生委員会副会長でもあり、3月20日付けのタウンニュース厚木、愛川、清川版に、コロナウイルス対策について詳細なアドバイスを寄稿なさり、「火の粉を火事にしない市民の意識と体制を整えば安全な地域が維持できる」と、今回の試練から、感染症に強い街が創造され、自然に親しみ、身体を動かす健康的な生活が身につけば「災い転じて福となす」となるかも、「心や身体も安全で安らかな持続可能な生活を探る時期かもしれない」(抜粋)など私たちが元気づけてくれる前向きな記事の内容に、日々不安を抱えて過ごしている沢山の市民が励まされた事と思えました。

OB会 / 同期会便り

寸又峡を訪ねて

山岳部OB会 泊瀬川 孚(高14回)



昨年11月、1泊2日で寸又峡を訪ねた山岳部OB会

山岳部OB会は、高3回卒業の故小森良章さんが、名簿を中40回生から高48回生まで整理し、多い時には登山計画に20名以上の参加があった。しかし、最近では10名の参加者がやっとという状況になっている。それでも毎年計画を立て集まっている。昨年11月には紅葉の寸又峡を1泊2日で訪ねて

要の増加に対してつきつきに開通した道を探ねた。続いて、小国神社。この神社は静岡遠江一宮で紅葉が有名、ご利益は縁結び、厄除け、心願成就とのことである。おりしも、モミジが紅葉真っ最中であった。参加者は、功成り名を遂げた連中ばかりでせいぜい、「厄除け」をお賽銭に託したか？

初日の宿泊は、お茶で有名な川根温泉で「静かな夜」を過ごした。二日目は、8時出発、寸又峡を目指した。混雑を避けるためである。幸いな早朝には強い連中、苦にはならず寸又峡に向かい「夢の吊橋」を回る行程約2時間、渋滞にも合わず紅葉とつり橋を楽しんできた。

この後、大井川中流の接岨湖にかかる大井川鉄道井川線の無人駅(とはいえ可愛い女性駅長がいた)奥大井湖上駅に立ち寄りトロッコ列車を待った。この列車は日本唯一のアプト式が残る鉄道で急こう配の路線を走っている。

OB会では、かつては、日本百名山を全山踏破し、2000年には、ヒマラヤの「アイランドピーク」標高6200メートルに遠征し、記録を残してきたOBもいたが、近頃は、登山計画には参加がなく温泉旅行が目的である。しかし、まだまだ山行きを忘れていない若手OBも健在なので、最近では秦野戸陵会の丹沢表尾根縦走に参加した。

山岳部OB会に参加してみたい若者(高14回以降の皆さんはみな若者)は、ぜひご連絡を。

連絡先/高14回、泊瀬川孚(はせがわ まこと) 携帯電話/090-3576-4465

高26回同期会コンペ開催 恩師中村菊一先生の叙勲に祝意

吉川 昭(高26回)

3月1日、読売新聞朝刊記事の叙勲者一覧の瑞宝小綬章欄に中村菊一(元県立相模原高校校長(町田市在住))という見覚えのある名前が目に入りました。

これは、我々26回卒の担任をされていた中村先生だろうと思いついた。中村先生は、29名の送別、すぐに「おめでとうございます」との返信があり懐かしく45年前の授業が話題になったのでした。「授業中寝ている生徒に〇寝てる！」とやさしく声を掛け

て起こしてくれたよね」そういえば私も良く声をかけていた。懐かしい高校1年生の古文の授業の「コマの話です。ナムシはケムシのヘンケイカ」のフレーズ覚えてるよ!!という返信も入ってきた。昔は濁点がなかったから仮名で書く「汝は源氏の弁慶か」がこうなるって先生の話を懐かしく教えてくれたのでした。

ある同期からは自分の名前の読み方について、今まで正確に読んでくれたのは中村先生だけと懐かしかったです。話になったのです。中村先生は厚木高校2回卒業で我々の先輩でもありました。私たちが担任をされた先生方の中には厚木高校の卒業生で我々の先輩が何名かいらして今でも同期会にはお元気な姿でお見えになられ、懐かしい時間を過ごさせていただいております。



オリンピック年に合わせて開かれる高26回同期会のゴルフコンペ

今年は何人の同期が顔を見せられるのでしょうか。昨年の同窓会誌での同期のゴルフコンペの記事が目に入ると、今年3月21日のコンペに2名新たに参加してくれました。二人とも在校時に私は接点が無かったので顔も名前も判らなかつたのですが、やはり同じ時間を過ごした同期です。親しみは他のメンバーと変わりません。猛威を振るっている新型コロナウィルスによって開催を色々検討してくれました。中山君、安藤さん、二人の幹事の苦勞により22名もの参加者でコロナウィルス等ナンソノ!!と盛大に開催されたのでした。特に中山君にあつては胸部挫傷筋肉断裂していた身体でプレーしていたとのことが後日判明しました。さすがに高校時代ボクシングで鍛えただけのことは有ると感心したのでした。

そして、興味深いことがあるのですが偶然にもこの同期会コンペと同じ日に高校29回卒の同期会コンペが開催されているのです。それも今回で3回目となっているのです。奇遇なことには彼らも僕らと同じ緑バッジで担任の先生方も私たちの担任をしてくださった先生方が多いのだと思います。彼らの中には「ナムシはケムシのヘンケイカ」のフレーズを覚えてる人もいます。私の場合には不思議なことに緑バッジの先輩方にご縁があるようです。高23回、20回、17回、14回、11回、8回、5回、2回。偶然にも不思議な縁を感じる同窓生という感覚です。駅から戸室の丘への景色は変わったかもしれないけれど、教室の窓から見える阿夫利の高嶺は今でも変わらず雄々しい姿を見せてくれていることでしょう。

同窓会本部役員・理事・支部役員

(令和2年8月1日現在)

同窓会本部役員

Table of board members including 会長 熊坂 隆光, 副会長 小島 信男, etc.

同窓会本部事務局

Table of staff members including 事務局長 石塚 修, 事務局長次長 志村 祐一, etc.

理事 (本年9月改選)

Table of council members including 1 齊藤 実, 2 高橋 昌和, etc.

各地区同窓会支部

Table listing regional branches such as 1. 伊勢原戸陵会, 2. 秦野戸陵会, etc.

Table listing regional branches such as 14. 厚木連合戸陵会, 15. 清川戸陵会, etc.



http://www.atsukou-dousou.org

同窓会本部では、公式ホームページを開設しています。主な内容は次の通りです。

同窓会ホームページのご案内

- 同窓会概要
本部役員紹介/会則/母校教育振興基金規定/活動活性化補助金交付要綱/会費についてなど
学校の歴史・校歌
沿革の大要/県立第三中学校創立略史/同窓会の歴史など
お知らせ
同期会・OB会情報/バックナンバーなど
総会報告
総会資料/写真集など
支部会のご案内
同窓会会報
会報バックナンバー/各支部会報/部活OB会報など
動画や写真など、多彩な内容でお伝えしています。

事務局便り

校内事務局スタッフ8名で高橋幸一先生(高28回)が転任されましたので、今年度は次の8名の人員で同窓会の校内役員としてご協力いただくことになりました。

編集後記

同窓会広報委員長の小島信男氏(高17回)が「第73回県民功労者表彰」を受賞された。この表彰は公共の福祉に貢献し、その業績が特に優れた人を広く顕彰することを目的として神奈川県が毎年実施しているもので、県の最高表彰のひとつ。今年度は産業・経済の分野から小島氏が選ばれた。

2017-20年 広報委員会委員

Table with columns: 役職, 氏名, 卒回, 所属戸陵会, 連絡先. Lists members of the Publicity Committee from 2017-2020.